

どうする避難？

風水害から命を守るためには「自らの命は自らが守る」という意識を持ち、自らの判断で早めに避難行動することが必要です。慌てず安全に行動できるよう、日ごろから避難行動を確認しておきましょう。

☎ 危機管理課(1階) ☎561-2325、☎561-6852



避難情報が発令されたときの行動を確認しましょう



避難に時間がかかる高齢者や障害のある人が避難を開始するタイミングです。その他の人も外出などを控え、避難の準備を整えましょう。

危険な場所にいる人は

速やかに全員避難

命を守る
最善の行動を！

警戒レベル
5

警戒レベル
4

災害発生！

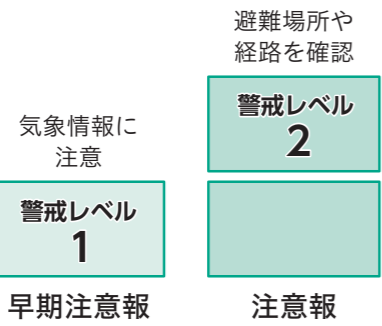
警戒レベル
3

警戒レベル
2

警戒レベル
1

緊急安全確保

住民の行動



自主防災組織の行動

- テレビやラジオなどによる気象情報などの入手
- 役割分担の確認(資機材点検、パトロールなど)
- 高齢者等への声掛け・巡回訪問などによる情報伝達
- 高齢者等の避難支援や誘導
- パトロールの実施
- 住民への声掛け・巡回訪問などによる情報伝達
- 避難の呼び掛け



台風・豪雨時に備えて、ハザードマップと一緒に避難行動を確認

平時に確認！

必ず取り組みましょう

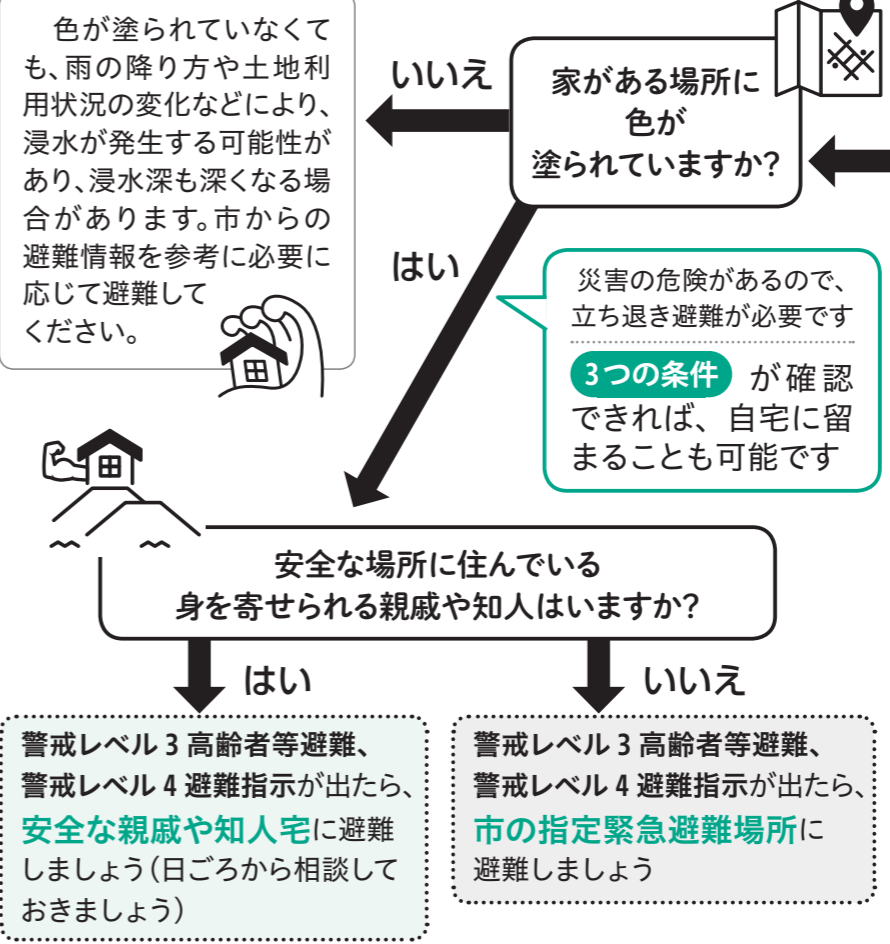
START!

ハザードマップ※で自分の家に印をつけてみましょう

※ハザードマップとは浸水や土砂災害が発生する可能性がある区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります



ハザードマップについてはこちら



3つの条件

- ① 浸水深より高いところにいる
- ② 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない
- ③ 水がひくまで我慢でき、水・食料の備えが十分にある

参考:内閣府・消防庁のパンフレットより



避難のポイント

早めに避難行動するためには、災害に備えて情報収集の手段や避難行動について、平常時に考えておくことが必要です。4月に全戸配布した「防災ハンドブック」には、災害に対する事前の準備や行動の予定表を作成できるページ(マイ・タイムライン記入シート)があります。いざというときに慌てず行動できるよう、家族で共有しておきましょう。また、高齢者や障害のある人、子どもなど、避難に支援を必要とする人もいます。地域活動を通して、日ごろからコミュニケーションをとり、避難先や避難経路などを一緒に計画しておくことが大切です。いざというときに助け合えるように、平常時から地域みんなで防災活動に取り組みましょう。



複数の手段を利用して情報を収集しましょう

- テレビ** • NHKの地デジdボタン
- ラジオ** • えふえむ草津(FM78.5MHz)のラジオ放送
- 屋外スピーカー**
 - 市内一斉緊急放送システム(屋外スピーカー)
 - 放送内容の再確認は ☎ 0120-119-932(自動応答)
- メール** • 市の登録制災害情報メール



登録はこちらから

アプリ



市公式 LINE



市公式 Twitter